

3 恒久対策（案）の施工管理方法

3.1 恒久対策（案）の施工管理方法

3.1.1 各作業時における施工管理

はつり落とし工

- ・ はつり作業実施前には、はつり箇所周辺のクラック等の状況を十分確認した上で、作業を実施する。
- ・ 無筋区間については、はつり落とし後に、はつり落とし面の覆工厚が15cm以上確保されていることを確認する。

防水シートの押上げ

- ・ アンカー打設箇所は、防水シートを貫通するため止水材を設置し、止水材の取付状況を確認する。
- ・ 防水シート押上げ後、モルタル注入前に覆工厚を確認する。
- ・ 防水シート押上げが困難な場合、現地で状況を確認の上、シート切断、再設置の必要性を判断する。
- ・ 防水シートを切断、再設置する必要がある場合、シートの重ね幅及び溶着状況を確認する。

補強鉄筋工

- ・ ケミカルアンカーは、300本に1回(1回につき3本引張)かつ1箇所当たり1回以上引抜試験を行い、引抜耐力を確認する。
- ・ 補強鉄筋の配筋状況、継手の重ね長等を確認する。

(下線部：立会確認箇所)

(下線部：今回管理強化箇所) 19

3 恒久対策（案）の施工管理方法

3.1 恒久対策（案）の施工管理方法

3.1.1 各作業時における施工管理

空洞充填工

- ・ 無収縮モルタルについて、1注入施工日当たり1回、圧縮強度試験、コンシステンシー試験を確認する。
- ・ 確認孔からモルタルが流出することを確認する。
- ・ 設計注入量及び注入圧0.2MPaの圧力上昇を確認する。（打ち止めしない）
- ・ 空洞面積 1 m²以上ではつり落としを実施する箇所について、充填検知センサーにより充填を確認する。
5箇所（S9、S31×2、S38×2）
- ・ 注入圧作用時に覆工面にひび割れなどの変状が生じないことを目視確認する。

はく落防止対策工（FRPグリッド）

- ・ 覆工コンクリートとポリマーセメントモルタルの接着強度を求めるため、接着試験を実施して接着強度を確認する。

はく落防止対策工（炭素繊維シート）

- ・ 覆工コンクリート及びポリマーセメントモルタルと炭素繊維シートの接着強度を求めるため、接着強度を確認する。

（下線部：立会確認箇所）

（下線部：今回管理強化箇所）

3.1.2 恒久対策時の確認立会

恒久対策の施工時においては、全箇所を京都府職員又は現場技術員が現場にて施工状況の確認を行う。